

萌

宮崎中学校区地域教育会議 だより

MOE

第4号

平成14年3月18日(月)

発行 宮崎中学校区地域教育会議

議長 持田 正美

編集 広報委員会



子ども達の安全、だれが守るの?!

最近、宮崎中学校区内でも変質者が出没し、子ども達が被害にあうなど深刻な事態になっています。また交通量の激しいこの地域では、交通事故などの危険性も見過ごすことはできません。池田小学校の事件をきっかけに、学校内や地域で子ども達が安心して暮らせるための対策が強化されています。

各小学校の防犯対策

【宮崎小学校】

- ・腕章着用運動。「宮小PTA」の腕章を増やして多くの方に付けていただき、事件を未然に防ぐ対策を取っています。

【梶ヶ谷小学校】

- ・校内パトロールを継続して行なっています。

【西梶ヶ谷小学校】

- ・自転車やバイクに「パトロール中」のカードを取り付けています。
- ・「ちかん防止」ポスターを作製し、フェンスや門柱の掲示場を募っています。

「こども110番」運動

こども110番は、子どもが不審者に付きまとわれたりした時、一時的に保護してくれる緊急避難先として家庭や店舗などに設置させていただいています。すでにご近所でこども110番のステッカーご覧になった方も多いと思います。

宮崎中学校区の設置数は平成14年1月現在、宮崎小区171ヶ所、梶小区92ヶ所、西梶小区44ヶ所。たくさんのご家庭や商店の皆さま方にご協力いただいています。

けれども、住宅街やバイパス下などの暗い危険な場所にはまだ設置が行き渡っていないのが現状です。このような場所にお住まいの方にも、ぜひこども110番の趣旨をご理解いただき、ご協力いただければと思っています。詳しいことは各小学校の担当者までご連絡ください。よろしくお願いします。



保護者が危険を認識することが大切

塾の帰りなどで夜10時過ぎに帰宅する子がいます。自転車だから安心と思っている方はいませんか？ 特に女の子の場合、これはとても危険です。塾で遅くなることはやむを得ないとしても、時々はお迎えに行く、帰宅時間と帰宅経路をハッキリさせるなど、ご家庭で十分に話し合ってください。

深夜営業の店舗などに目的もなくたむろしている子達がいます。でも今まで何事もなかったのはラッキーだっただけ。暴走族関係などが声をかけてくるのはこういう場所が多いのです。また、茶髪やピアスなど服装の乱れを大目に見ているのも要注意です。目を付けられやすいのはこういう外見の子なのです。子ども達がそれを分かってやっтерのかは疑問。スキを見せない服装・行動は安全のカギといえます。

ご家庭でもお子さんの深夜の外出や服装についてはきつく注意をするようにしてください。

まずは保護者が危険を認識し、お子さんと話し合って納得させることが重要です。
(少年補導員・中村さん談 文責・広報委員会)

地域危険区域マップを活用しよう

萌2号でもお知らせしましたが、地域教育委員会自作の「地域危険区域マップ」が各小中学校で配布され、また地域には回覧されます。家の周りや通学路の状況をお子さんと話し合うなど、ぜひ参考にしてください。

このマップにも交通危険区域としてマークされている宮中と青少年の家の間の三叉路には、新学期から1年間、子ども達の登校時間に合わせて交通安全指導員さんに立っていただくことになりました。



第3回
生涯学習会

子どもの健やかな成長を願って

～家庭教育を中心に～

2月2日、梶ヶ谷小学校で第3回生涯学習会が開催されました。前半は梶ヶ谷小学校附属幼稚園の松島叔子教頭に子どもの成長に合わせた家庭でのかかわり方を伺い、後半は参加者が2つのグループに分かれ、それぞれの子育ての現状や悩みなどを出し合いました。

○家庭教育は子どもが幼い時ほど効果的

「三つ子の魂百まで」はよく聞く言葉ですが、「つ」のつくうちは手がかかる」というのも昔から言われているそうです。ひとつ、ふたつ、みつつ…ここのつ(9歳)までは手がかかり、10歳からは大丈夫。小学校4年生くらいまではしっかり手をかけてあげなければいけないということですね。

○人の心が育つ道筋を知ろう

下表をもとに、発達課題と親の関わりのポイントを伺いました。その時期の課題を一つひとつ獲得していくことが、心(人格)の土台を作っていくのです。けれども成長の仕方は子どもによって違います。焦らずに、子どもの発達に見合った子育てをすることが大切です。

○子どもは「親」の姿を見て育つ

子どものモデルは親自身です。親が行動で示した方が分かりやすく、耳から言葉で教えるよりも覚えられます。また、個性を尊重するのと伸び伸びさせるのは違います。

○父親の子育てへのかかわり

- ・母親と父親は子どもの将来の自立に対して一緒に協力していく仲間です。
- ・父親の特技を生かして、子どもと一緒に遊びましょう。
- ・母親と父親の意見調整は、子どものいない所でしましょう。
- ・父親の役割は母親の心を支えること。夫婦が協力して心やすまる家庭を作ることがなによりも大切です。

人の心の育つ道筋と発達を促す親のかかわり(エリクソンの発達理論より)

	身体の発達	心の発達課題	発達を促す親のかかわり
乳児期 0才～1才	おすわり、ハイハイ、首がすわる	【基本的信頼感】母と子の絆をしっかりと結ぶこと心の土台作り	・肌のふれあいを十分に ・やさしく話しかける ・親子の楽しい時間を持つ
幼児期前期 1才～3才	身長・体重の増加、歩く	【自律心】自分を自分でコントロールして、がんばり努力しようとする力	・生活習慣の自立は、子どもに合わせてタイミングよく繰り返し、ゆっくりでも自分でやらせる ・ほめたり励ましたりし自信や喜びを持たせる ・話しかける
幼児期後期 3才～6才	運動機能の発達	【自発性・積極性】自分の意思で行動しようとする力 【良心・けじめ】社会生活のルールを身につけること	・自己主張を認め、見守る ・自分の意思で自発的に行動しようとする気持ちを大切にする ・折にふれてやってよいこと、悪いことを知らせる ・子ども同士の遊びやけんかを大切に
学童期 6才～11才	2次性徴期	【学ぶ喜び】学ぶことは楽しいという感覚 【有能感】自分には自分なりの能力があるという感覚や自信 【適格性】大人になってもそれなりにやっていけそうという自信	・知的好奇心を大切に ・子ども同士の遊びが十分にできているか留意する ・いろいろな経験を積ますこと ・子どもの成長を言葉で確認し、誉め、自信をつけさせる
思春期 11才～20才		【自我同一性】真の自分を求め確立していく時期	

子ども座談会

2月16日、宮崎中学校で「子ども座談会」を行ないました。参加したのは宮崎中生徒の代表6名と大人4名。今回は特にテーマを決めず“今、中学生が考えていること”を生徒達に本音で話し合ってもらいました。



「大人や親についてどう思うか?」「友達って何だろう?」「いじめをどう思うか?」など、司会からの質問に対し、生徒達から率直な意見がたくさん飛び出しました。

☆ ☆ ☆

「いじめを見たら勇気を出して言うことが大切」「自分もいじめたことがある。でも自分がいじめにあって、いじめられる友達の気持ちが分かった」。ホームレス殺害事件については「事件を起こした子には友達がいなかったのかも」「本当の友達なら不幸にさせたくないし、命を奪うことがどんなことか分かってもらうために止める」など、いじめや友達にもしっかりした考えを持っていることが分かりました。また「親にはむかつくこともある」と本音が出たり、「子どもを虐待する大人にはなりたくない」「周りのことを考えてくれる大人になりたい」など、大人に対する厳しい発言もありました。

☆ ☆ ☆

今回の子ども座談会は少人数のディスカッション形式にしたため、子ども達の素直な意見を聞くことができました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

熱気があふれた！青少年の家フェスタ

3月10日、「第6回川崎市青少年の家 Jump Up フェスタ！」が開催されました。ポカポカ陽気の日曜日は絶好のお祭り日和となり、会場はたくさん参加団体の方々やボランティアの若者達、地域の方々と賑わいました。

「青少年の家フェスタ」は、青少年の家を広く一般の方にも理解していただき、親しんでもらおうと、毎年3月に行なっています。青少年の家を利用している各種団体は日頃の活動の成果を発表する場でもあります。

プレイホールでは、開会前から「大塚太鼓」のメンバーによる和太鼓が鳴り響き、開会式を盛り上げました。また、「みのり会セルフこぼと」の知的障害の方達による演劇『七匹のこやぎ』、「インターナショナル空手古武道連盟」の子ども達による空手の演技、「太鼓川崎仲間・響」の華麗な和太鼓演奏など、素晴らしい演目の数々が披露され、ホールは感激の声援や拍手でわきかえりました。



また、玄関前や園庭では模擬店やフリーマーケット、館内ではゲームや工作のコーナーなどが設けられ、子ども達もおおはしゃぎでした。地域教育会議も焼きそばとフランクフルトの模擬店を出しました。

フェスタを企画・運営したユースワーカーズ倶楽部の青年ボランティアの皆さん、楽しい1日をありがとうございました。



オープニングは大塚太鼓の演奏



あなたも地域教育会議に参加しませんか！

宮崎中学校区地域教育会議・住民委員募集

地域教育会議は私達の手で活動を作っていくことを基本としています。
学区内に住んでいる住民の方々が立候補してくださる「住民委員」は、
この教育会議を地域に開かれたものにするためのキーパーソンです。

宮崎中学校区地域教育会議は、川崎市教育委員会、川崎市地域教育会議推進協議会の委託事業です。「市民が自らの責任として教育を行なうための自主的・民主的組織」で、非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として、平成10年度に発足しました。

今年度の具体的な活動は以下の通りです。

①広報紙の発行

今年度は広報紙「萌」を4回発行し、地域で行なわれている活動や、地域教育会議の活動をお知らせしました。この広報紙は、宮崎中学校区の3小学校と1中学校の児童生徒を通して、また町内会の回覧板を通してご覧いただけるようにしています。

②生涯学習会の実施

今年度は3回、「人権について」「父親の役割」「幼児教育（本号P2参照）」を実施しました。

③子ども座談会・地域マップ作成

「今思っていること」をテーマに中学生達が話し合いました（本号P3参照）。地域危険箇所マップは配布および回覧しています。

④「大人が変われば子どもも変わる運動」

地域をよりよいものにしていこうと、地域の皆さんにポスターと作文を募集し、ポスターは市内2ヶ所に展示、作文は市P協だよりに掲載してもらいました。

平成14・15年住民委員募集要項

- 1 募集人数：10名程度 任期：2年
 - 2 募集期間：
平成14年3月18日（月）～4月19日（金）
 - 3 委員の資格要件
 - ①宮崎中学校区に在住で満20歳以上の方
 - ②左記の教育会議の趣旨を理解し、ボランティアで活動に参加していただける方
 - 4 応募方法
 - ①所定の応募用紙に必要事項を記入し、事務局（宮崎中学校内）に提出してください
 - ②応募用紙を用意してある場所は宮崎中学校、宮崎小学校、梶ヶ谷小学校、西梶ヶ谷小学校
- ※お問い合わせは事務局までお願いします
宮崎中学校 Tel：866-3372

「住民委員になってみませんか？」

住民委員になって、あっという間に4年が過ぎました。この会の名前を身近なものにするため、各学校や町内会のバザーなど、行事に参加してとても楽しかったです。地域での知り合いもでき、その中で子育てしたり、話し合っ、地域を住みよくしたりする事は、とても大切な事ですね。気軽な気持ちで、住民委員をやってみてください。（松井美千代）

INFORMATION

●入学式日程●



4月5日（金）

宮崎中学校
宮崎小学校
梶ヶ谷小学校
西梶ヶ谷小学校



ご意見・ご感想はこちらへ！

ファクス：044-854-5748

eメール：nmiya@vy.catv.ne.jp



編



集



後



記



白梅、紅梅、そして紅色の桃の花。道行く人々の目を楽しませてくれる3月は、人も植物も燃え立つ月です。無事に卒業した人、希望の学校に進路を見つけた人、社会人として新しい職場に就く人。まさに萌える月です。

この大きな節目に、家庭における親子のあり方、緊密性を十分に認識せねばなりません。ぜひ皆様のご家庭において、萌えたつ良い節目にしてください。こうした願いをこめた「萌」4号をお届けします。